

# 転出入者を対象とした定住・移住に 関するアンケート

報告書

令和7年6月

東近江市

## 目次

1 調査概要	1
2 調査結果	2
【転出者】	
1 転出者の属性（問1～問6）	2
2 転出前・後の住居（問7）	6
3 転出の理由（問8）	7
4 市内での転居検討の有無（問9）	8
5 転出先を選んだ理由（問10）	8
6 もう一度東近江市に住みたいか（問11）	9
7 東近江市に住んでよかったところ、不満に感じていたところ（問12・13）	10
【転入者】	
1 転入者の属性（問1～問9）	11
2 転入前・後の住居（問10）	19
3 転入の理由（問11）	20
4 転入に当たり利用した移住・定住支援制度（問12）	21
5 他に転入を検討した自治体（問13）	22
6 転入先に東近江市を選んだ理由（問14）	23
7 本市での暮らしで期待すること（問15）	24
3 総括	25
参考：調査票	27

# 1 調査概要

## (1) 調査の目的

東近江市では、現在第3次総合計画及び第3期総合戦略の策定作業を進めています。今回の調査では、転出・転入された方々の世帯構成や、転出・転入に係る理由等を把握し、各種計画の策定や今後のまちづくりの参考にするとともに、定住・移住促進のための基礎資料の収集を目的としています。

## (2) 調査方法

- ・ 調査対象：東近江市に、転出届または転入届を提出された方（世帯での異動の場合は世帯主）
- ・ 調査方法：市窓口での配布、回収
- ・ 調査期間：令和6年9月～令和7年4月
- ・ 回答数：転出者：619件（期間中の転出世帯数：2,457件 回答率：25.2%）  
転入者：832件（期間中の転入世帯数：2,471件 回答率：33.7%）

## (3) 報告書の見方

- ・ 回答比率は、少数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。複数回答の設問については、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・ 図表中の「n」とはNumber of caseの略であり、回答者総数を表しています。

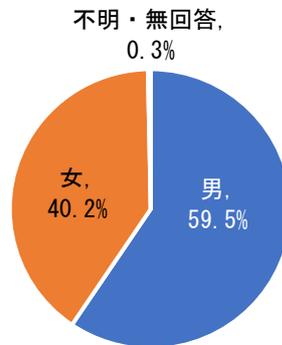
## 2 調査結果

### 【転出者】

#### 1 回答者の属性（問1～問6）

##### ■世帯主の性別（問1） ～ 男性が約6割

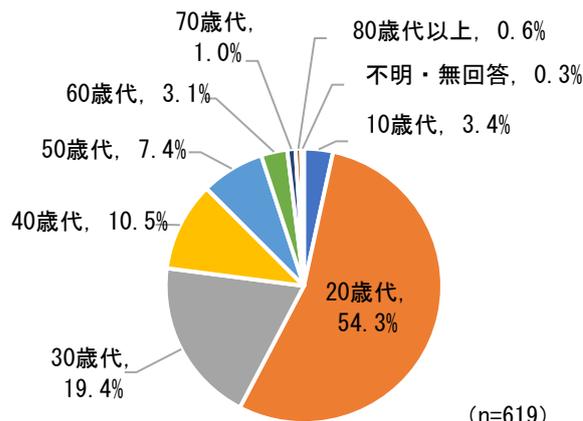
世帯主の性別は、「男」が59.5%、「女」が40.2%で、男性が多くなっています。



(n=619)

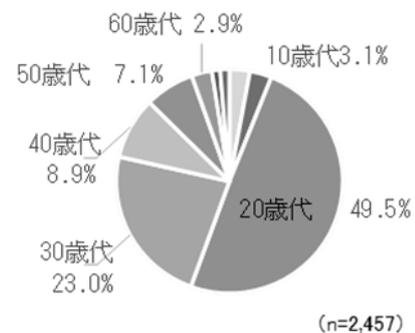
##### ■世帯主の年齢（問2） ～ 20歳代が半数以上、20～30歳代が7割以上

世帯主の年齢は、「20歳代」が54.3%と最も多く、次いで「30歳代」が19.4%、「40歳代」が10.5%と続き、特に20～30歳代が73.7%と7割以上を占めています。



(n=619)

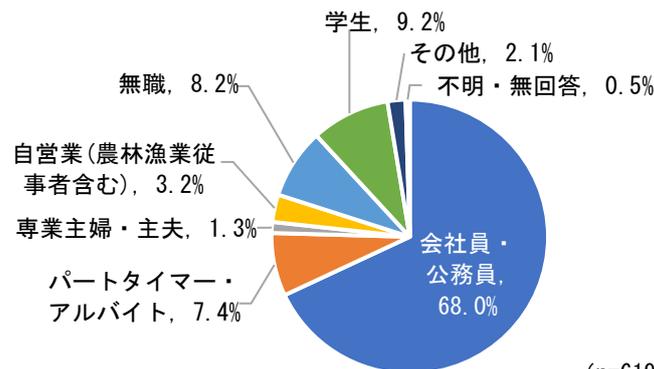
##### 参考1: 調査対象者全体の年齢分布 (住民基本台帳データ)



(n=2,457)

##### ■世帯主の職業（問3） ～ 会社員・公務員が7割近く

世帯主の職業は、「会社員・公務員」が68.0%と最も多く、「学生」が9.2%、「無職」が8.2%、「パートタイマー・アルバイト」が7.4%と続きます。



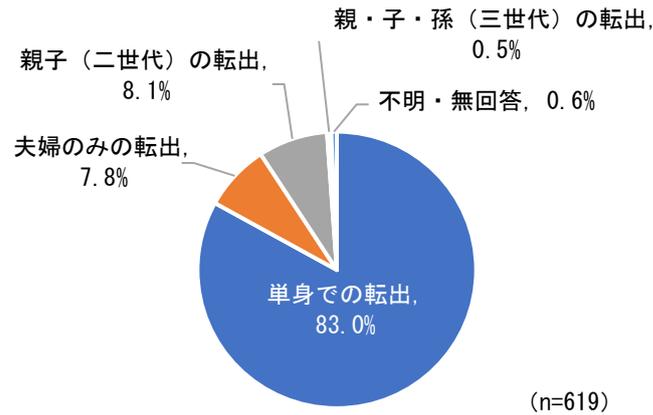
(n=619)

### ■ 転出世帯の構成・人数（問4） ～ 単身での転出が8割以上

世帯の構成は、「単身での転出」が83.0%と最も多く、「親子（二世帯）の転出」が8.1%、「夫婦のみの転出」が7.8%と続きます。

世帯人数は、「単身での転出」が8割以上を占めていることから、「1人」が最も多いと考えられます。人数の回答があったのは、45件（全体の7.3%）のみのため比較はできませんが、家族の移動では3人が最も多くなっています。

#### 世帯の構成



**参考1:** 世帯構成×世帯人数（※世帯人数の回答があった45件分のみ。クロス集計結果）

単位：件数

世帯構成	世帯人数					総計
	1人	2人	3人	4人	5人	
単身での転出						
夫婦のみの転出		2				2
親子（二世帯）の転出	1	8	17	11	3	40
親・子・孫（三世帯）の転出	2		1			3
計	3	10	18	11	3	45

### ■転出前の住所（問5） ～ 八日市地区が3割近く、能登川地区が2割

転出前の住所は、「八日市地区」が27.8%と最も多く、次いで「能登川地区」が20.4%、「蒲生地区」が14.2%と続きます。

問5 転出直前に住んでおられた東近江市での地区をおたずねします。《○1つ》



### ■転出後の住所（問6） ～ 滋賀県内が4割、大阪、京都、愛知、東京などの大都市圏へ

転出前の住所は、都道府県レベルで見ると、「滋賀県」が42.8%（265件）と最も多く、次いで「大阪府」が11.5%（71件）、「京都府」が7.3%（45件）、「愛知県」が4.5%（28件）、「東京都」が3.6%（22件）と続きます。

県内の転居先の内訳（全265件）は、「近江八幡市」が16.6%（44件）と最も多く、次いで「彦根市」が15.1%（40件）、「守山市」及び「愛荘町」が9.8%（26件）、「大津市」が9.4%（25件）と続きます。

問6 新たなお住まいの自治体名をおたずねします。

#### ■転出先の自治体（都道府県）（※転出者総数619件に占める割合）

単位：%

滋賀県	42.8	埼玉県	0.8	北海道	0.3
大阪府	11.5	福岡県	0.8	岡山県	0.2
京都府	7.3	宮城県	0.6	高知県	0.2
愛知県	4.5	熊本県	0.6	佐賀県	0.2
東京都	3.6	鹿児島県	0.6	長崎県	0.2
兵庫県	3.1	奈良県	0.6	長野県	0.2
神奈川県	2.7	静岡県	0.5	島根県	0.2
国外	2.4	茨城県	0.3	徳島県	0.2
三重県	1.8	沖縄県	0.3	福島県	0.2
岐阜県	1.6	香川県	0.3	和歌山県	0.2
千葉県	1.3	山口県	0.3	山梨県	0.2
福井県	1.1	新潟県	0.3	愛媛県	0.2
広島県	1.1	鳥取県	0.3	宮崎県	0.2
石川県	0.8	栃木県	0.3	不明・無回答	5.2

#### ■県内の転居先の内訳（※滋賀県への転出総数265件に占める割合）

単位：%

近江八幡市	16.6	草津市	5.3	犬上郡	1.5
彦根市	15.1	栗東市	4.9	豊郷町	1.1
守山市	9.8	長浜市	4.5	高島市	0.8
愛荘町	9.8	日野町	3.0	多賀町	0.4
大津市	9.4	湖南市	2.3		
野洲市	6.0	米原市	2.3		
甲賀市	5.7	竜王町	1.5		

※大都市圏\*への転出者 34.7%（215件）

\*表中の網掛け ■ 東京圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、名古屋圏：愛知県、関西圏：大阪府、京都府、兵庫県

2 転出前・後の住居（問7） ～転出前は半数近くが持家（戸建）だが、転出後は6割近くが賃貸住宅

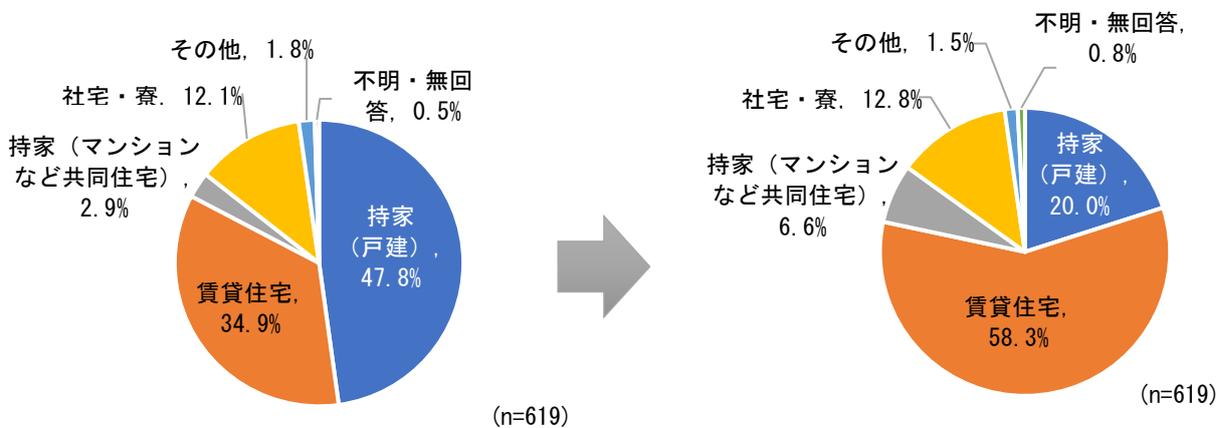
転出前と転居後の住居を見ると、転出前は「持家（戸建）」が47.8%と半数近くを占めているのに対して、転出後は「賃貸住宅」が58.3%と6割近くとなり、「持家（戸建）」は20.0%となっています。一方、転出前は「賃貸住宅」も34.9%と3割程度見られます。

転出前と転出後の住居の変化を見ると、転出前「持家（戸建）」の7割近くが転出後「賃貸住宅」となっています。持家（戸建）から「賃貸住宅」となった割合を世帯主の年齢別に比較すると、特に20～40歳代で7割前後と高くなっています。

問7 転出前・後の住宅についておたずねします。あてはまるものを一つずつ選んでください。《それぞれに○1つ》

《転出前》

《転出後》



■転出前と転出後の住居（※無回答を除く。クロス集計結果）

単位：%

転出前の住居 \ 転出後の住居	持家(戸建)	賃貸住宅	持家(マンションなど共同住宅)	社宅・寮	その他	総計
持家(戸建) (n=296)	14.9	<b>65.2</b>	6.1	13.5	0.3	100.0
賃貸住宅 (n=214)	26.6	62.1	4.7	4.2	2.3	100.0
持家(マンションなど共同住宅) (n=18)	16.7	27.8	55.6	0.0	0.0	100.0
社宅・寮 (n=75)	21.3	37.3	2.7	37.3	1.3	100.0
その他 (n=11)	36.4	18.2	9.1	18.2	18.2	100.0
総計(n=614)	20.2	58.8	6.7	12.9	1.5	100.0

■転出前の住居が持家(戸建)の転出後の住居×世帯主の年齢（※無回答を除く。クロス集計結果）

単位：%

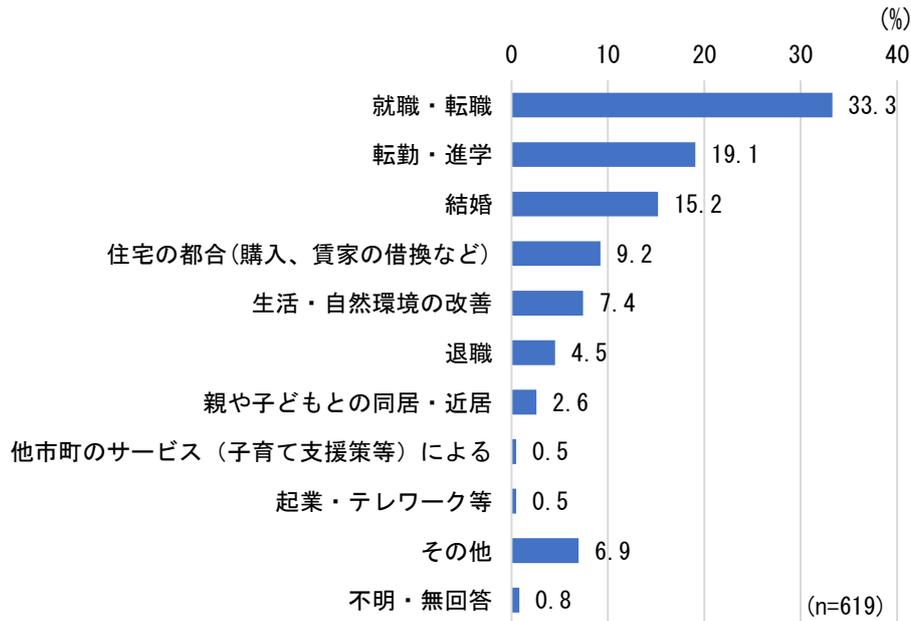
世帯主の年齢 \ 転出後の住居	持家(戸建) (n=44)	賃貸住宅 (n=193)	持家(マンションなど共同住宅)(n=18)	社宅・寮 (n=40)	その他 (n=1)	総計 (n=296)
10歳代 (n=16)	6.3	50.0	12.5	31.3	0.0	100.0
20歳代 (n=186)	8.1	<b>70.4</b>	4.8	16.1	0.5	100.0
30歳代 (n=45)	28.9	<b>66.7</b>	0.0	4.4	0.0	100.0
40歳代 (n=25)	20.0	<b>68.0</b>	8.0	4.0	0.0	100.0
50歳代 (n=12)	25.0	50.0	8.3	16.7	0.0	100.0
60歳代 (n=7)	57.1	14.3	28.6	0.0	0.0	100.0
70歳代 (n=3)	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	100.0
80歳代以上 (n=2)	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	100.0
総計	14.9	65.2	6.1	13.5	0.3	100.0

### 3 転出（住所変更）のきっかけ（問8） ～ 就職・転職、転勤・進学、結婚

転出の最も大きなきっかけは、「就職・転職」が33.3%と最も多く、次いで「転勤・進学」が19.1%、「結婚」が15.2%と続きます。

世帯主の職業が「会社員・公務員」が7割近くを占め、20歳代が半数以上を占めていることから、就職・転職、転勤・進学、結婚などの若い世代の人生のターニングポイントでの転出が多いと考えられます。

問8 東近江市を転出することとなった最も大きなきっかけについてお答えください。  
(理由が重複する場合は、主となる理由を選んでください。)(〇1つ)



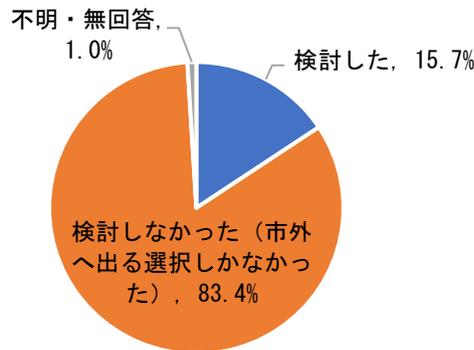
#### ■その他の理由（43件）

仕事関係 (5件)	・出向 ・職場が遠いため ・派遣先の更新切れ ・寮の変更 ・ワーキングホリデー	離婚・別居 (5件)	・離婚 4件 ・別居 1件
家族関係(4件)	・家族 ・実家へ転居 ・介護する人間がいないため ・教育移住	同棲(4件)	
暮らしやすさ (3件)	・JRの有無、大阪へのアクセス ・買い物、市役所等便利 ・借家なので安さが好きです	その他(7件)	・健康問題による離職 ・通学 ・自立のため ・手続きの関係 ・海外在住ですが東近江市湖東大好きです ・長く愛着のある土地に帰りたい ・市の対応に不満
無回答・特になし(15件)			

#### 4 市内での転居検討の有無（問9） ～ 検討しなかったが8割以上

市内での転居を検討したかどうかは、「検討しなかった（市外へ出る選択しかなかった）」が83.4%と8割以上を占めています。一方、「検討した」は15.7%となっています。

問9 住まいを変えるにあたり、東近江市内での転居は検討されましたか。《○1つ》

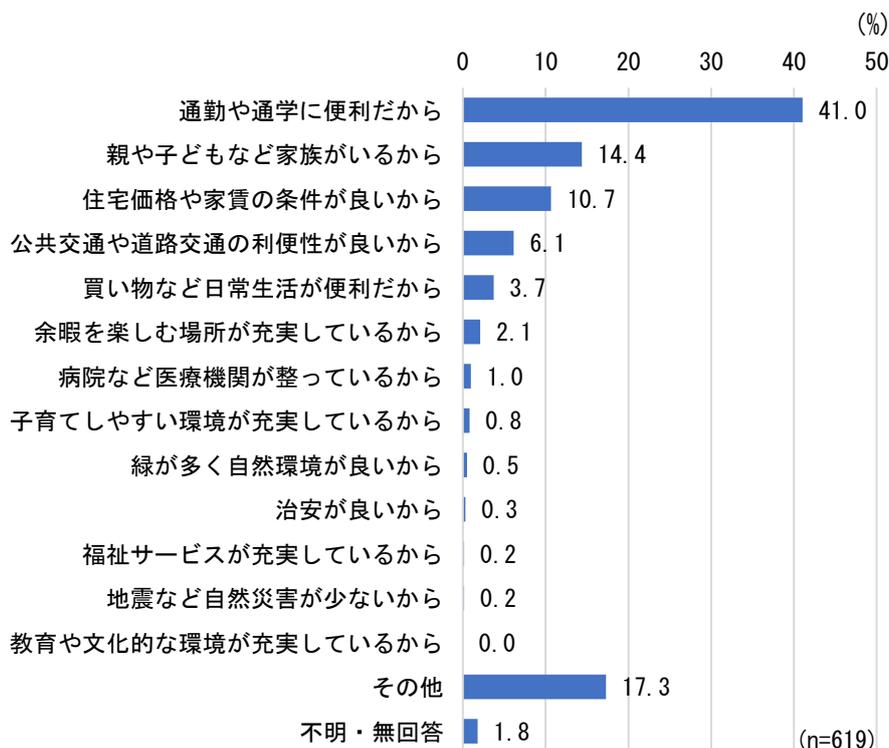


(n=619)

#### 5 転出先を選んだ理由（問10） ～ 4割が通勤や通学に便利

新たな住まいの場所を転出先に決めた理由は、「通勤や通学に便利だから」が41.0%と最も多く、次いで「親や子どもなど家族がいるから」が14.4%、「住宅価格や家賃の条件が良いから」が10.7%と続きます。

問10 新たな住まいの場所を転出先市に決めた理由はどのようなことでしたか。《○1つ》



(n=619)

## ■その他の理由(107件)

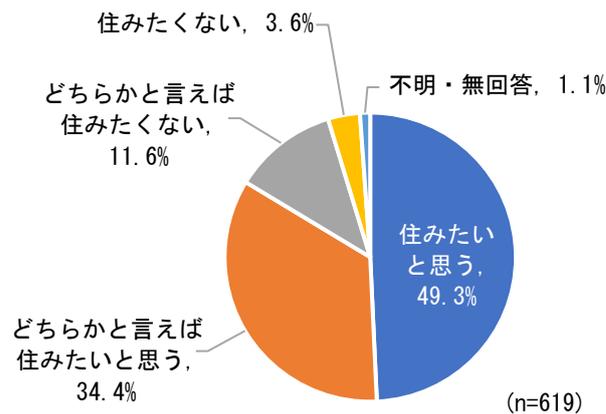
・勤め先の指示等	51件	・結婚・同棲等	12件
・実家・家族	10件	・寮がある	5件
・海外へ	4件	・その他	9件
・なし/特になし	2件	・無回答	14件

## 6 もう一度東近江市に住みたいか（問11） ～ 8割以上がもう一度住みたい

機会があれば、もう一度東近江市に住みたいと思うかについては、「住みたいと思う」が49.3%で、続く「どちらかと言えば住みたいと思う」の34.4%と合わせると、83.7%の人がもう一度東近江市に住みたいと回答しています。

一方、「住みたくない」は3.6%、「どちらかと言えば住みたくない」は11.6%で、これらを合わせると15.2%となります。

問11 機会があれば、もう一度東近江市に住みたいと思われませんか。《○1つ》



## 7 東近江市に住んで良かったところ、不満に感じていたところ（問12・13）

《東近江市での生活の上で良かったこと》 **日常生活の利便性、治安の良さ、自然環境や公園**

東近江市での生活の上で良かったことは、「買い物など日常生活の利便性が高い」が40.9%と最も多く、次いで「治安が良い」が36.5%、「自然環境がよく、公園が充実している」が29.1%と続きます。

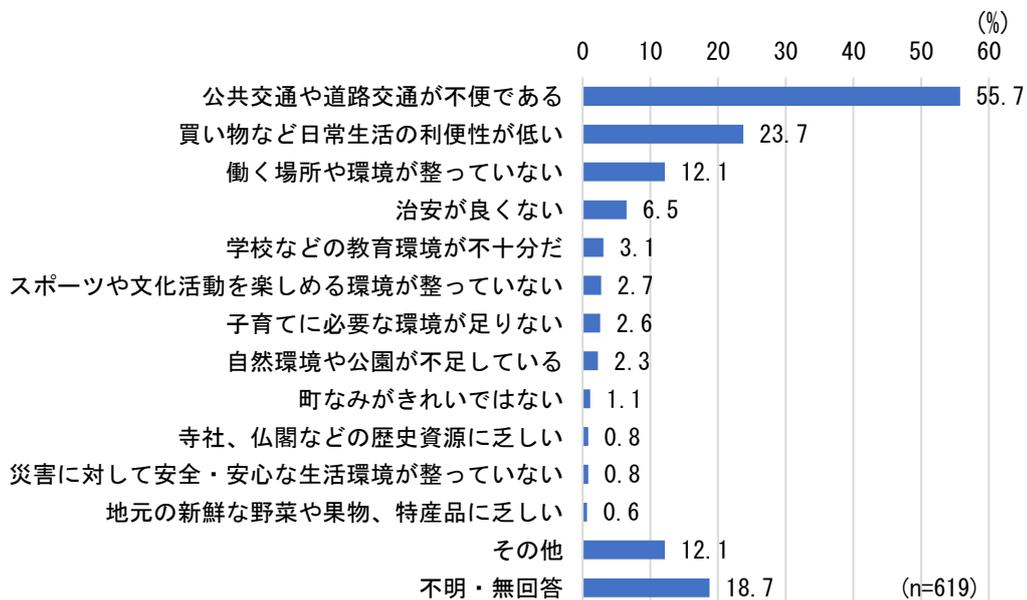
問12 東近江市での生活の上で良かったことは、どういったところでしたか。《○3つまで》



《東近江市での生活の上で不満に感じていたこと》 **公共交通や道路の不便さ、日常生活の利便性、働く環境**

東近江市での生活の上で不満に感じていたことは、「公共交通や道路交通が不便である」が55.7%と最も多く、次いで「買い物など日常生活の利便性が低い」が23.7%、「働く場所や環境が整っていない」が12.1%と続きます。日常生活の利便性は、良かったことでも上位にあげられており、評価が分かれています。

問13 東近江市での生活の上で不満に感じていたことは、どういったところでしたか。《○3つまで》



## ■その他の内訳

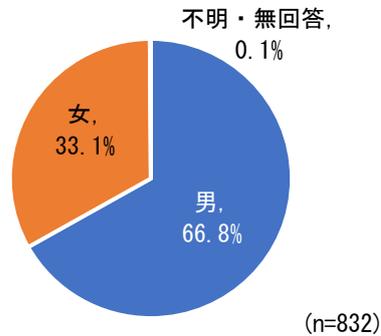
《東近江市での生活の上で良かったこと》 23 件		《東近江市での生活の上で不満に感じていたこと》 75 件	
地元 / 住み慣れていた(7件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族/親戚がいる(2件)</li> <li>・住み慣れていた(2件)</li> <li>・地元(2件)</li> <li>・慣れ親しんでいるから</li> </ul>	交通利便性(5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車がないと不便(3件)</li> <li>・(公共交通)夜の時間帯の本数が少ない</li> <li>・特に電車、バス</li> </ul>
暮らしやすさ・利便性(5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞が少ない</li> <li>・自然、駅近、平和堂</li> <li>・蛍がいる</li> <li>・食品の買い物は利便性が高い</li> <li>・人が少ない(色々なところで混雑がない)</li> </ul>	道路整備(4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路の凹凸が多く道が悪い</li> <li>・歩道がガタガタ</li> <li>・道路整備が行われていない</li> <li>・交通量が多い、交差点が多い、窮屈に感じる</li> </ul>
その他(4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉が良かった</li> <li>・図書館が充実していて良かった。できれば、各図書館で開館時間をずらして長く開館して貰えたらさらに良かったとも思う</li> <li>・図書館が利用しやすい。貸し出し中の本があまり多くない(冊数など)</li> <li>・家賃が安い</li> </ul>	暮らしやすさ・利便性(5件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雪の際の除雪をもう少しやってほしい</li> <li>・雪害がひどい</li> <li>・店閉まるのが早い</li> <li>・賃貸物件が不足している</li> <li>・物価が高い、賃金が安い</li> </ul>
		アクセス性(3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都会(京都・大阪)から少し遠い</li> <li>・都市部へのアクセスが悪い(電車)</li> <li>・都心から離れ少々不便</li> </ul>
・無回答/特になし(6件)		遊ぶ場所(4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊ぶ場所が少ない</li> <li>・娯楽が少ない、終電が早い</li> <li>・田畑が多すぎて遊ぶところが少ない。交通量の割に整備されていない</li> </ul>
		コミュニティ活動(3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内行事が多いのが、良くも悪くもありという感じです</li> <li>・お祭りが少ない</li> <li>・休日、度々催しがあり、早朝からのマイクをとおした放送が非常にうるさかった。休みなのに全然心が休まらない</li> </ul>
		行政サービス(2件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政サービスが良くない</li> <li>・支援が他の市町村と比較して少ない</li> </ul>
		働く場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就きたい仕事の外に出ないとい</li> </ul>
		その他(3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期通勤(1か月に1回)の病院が遠かったから</li> <li>・交通取り締まりが少なすぎる。深夜の国道、一般道は高速道路なみのスピードで走る車が多く、しかも車間距離が近く、いったい滋賀の車社会はどうなっているのかと疑問に思います。</li> <li>・外国人のマナーが悪い</li> </ul>
		無回答/特になし(46件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし/ない(33件)</li> <li>・特にない。転職がなければ住み続けたかった</li> <li>・思いつかない</li> <li>・不満に思っていない</li> <li>・無回答(11件)</li> </ul>

## 【転入者】

## 1 回答者の属性（問1～問9）

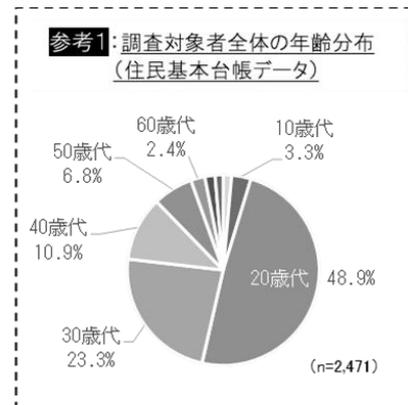
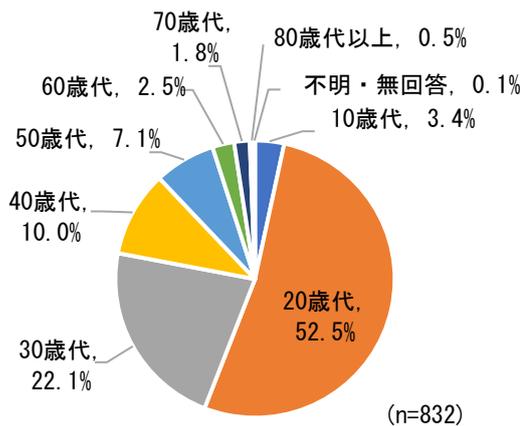
## ■世帯主の性別（問4） ～ 男性が7割近く

世帯主の性別は、「男」が66.8%、「女」が33.1%で、男性が多くなっています。



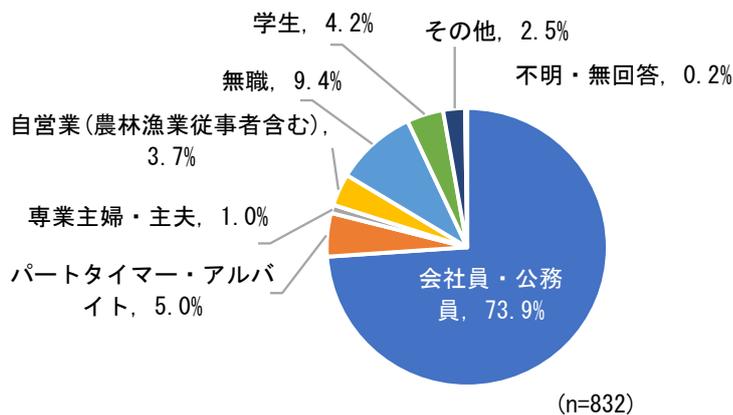
## ■世帯主の年齢（問5） ～ 20歳代が半数以上、20～30歳代が7割以上

世帯主の年齢は、「20歳代」が52.5%と最も多く、次いで「30歳代」が22.1%、「40歳代」が10.0%と続き、転出者と同様に20～30歳代が74.6%と7割以上を占めています。



## ■世帯主の職業（問7） ～ 会社員・公務員が7割以上

世帯主の職業は、「会社員・公務員」が73.9%と最も多く、「無職」が9.4%、「パートタイマー・アルバイト」が5.0%と続きます。

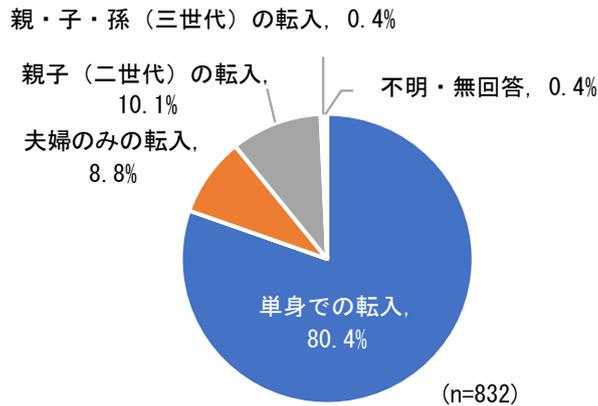


## ■転入世帯の構成・人数（問6） ～ 単身での転入が8割

世帯の構成は、「単身での転入」が80.4%と最も多く、「親子（二世帯）の転入」が10.1%、「夫婦のみの転入」が8.8%と続きます。

世帯人数は、1人が最も多く654件で無回答も含めた転入者総数（832件）の78.6%を占めています。世帯構成別の人数を見ると、親子（二世帯）世帯は3人が最も多くなっています。

### 世帯の構成



**参考1:** 世帯構成×世帯人数（※世帯人数の回答があった803件分のみ、無回答を除く。クロス集計結果）

単位：件数

世帯構成	世帯人数						
	1人	2人	3人	4人	5人	6人	総計
単身での転入	653						653
夫婦のみの転入	1	70					71
親子(二世帯)の転入		15	40	16	4	2	77
親・子・孫(三世帯)の転入				2			2
計	654	85	40	18	4	2	803

### ■転入日（問1）

転入日は、「令和7年3月」が258件(31.0%)と最も多く、次いで「令和7年1月」が91件(10.9%)、「令和7年4月」が90件(10.8%)、「令和6年9月」及び「令和7年2月」が83件(10.0%)と続きます。

問1 転入された年月をご記入ください。

令和6年8月	1件	0.1%
令和6年9月	83件	10.0%
令和6年10月	73件	8.8%
令和6年11月	81件	9.7%
令和6年12月	72件	8.7%
令和7年1月	91件	10.9%
令和7年2月	83件	10.0%
令和7年3月	258件	31.0%
令和7年4月	90件	10.8%
計	832件	100.0%

※比率は回答総数(832件)に対する割合

### ■転入前の住まい（問2） ～ 4割が県内他市町村からの転入

転入前の住まいは、「滋賀県内市外」が43.9%(365件)と最も多く、次いで「京都府」が11.4%(95件)、「大阪府」が6.5%(54件)、「兵庫県」が4.0%(33件)、「東京都」が3.7%(31件)、「愛知県」が3.4%(28件)と続きます。大都市圏（東京圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、名古屋圏：愛知県、関西圏：大阪府、京都府、兵庫県）からの転入者は33.2%(276件)です。

#### ■転入元の自治体(都道府県)(※転出者総数832件に占める割合)

単位：%

滋賀県内市外	43.9	石川県	0.8	熊本県	0.4
京都府	11.4	福岡県	0.8	島根県	0.2
大阪府	6.5	北海道	0.7	香川県	0.2
兵庫県	4.0	宮崎県	0.7	大分県	0.2
東京都	3.7	栃木県	0.6	新潟県	0.2
愛知県	3.4	国外	0.6	秋田県	0.2
三重県	2.6	長崎県	0.6	山形県	0.2
岐阜県	2.0	茨城県	0.6	青森県	0.2
神奈川県	2.0	徳島県	0.6	長野県	0.1
奈良県	1.3	鹿児島県	0.6	佐賀県	0.1
高知県	1.3	山口県	0.6	富山県	0.1
静岡県	1.2	福島県	0.5	岩手県	0.1
埼玉県	1.1	和歌山県	0.5	愛媛県	0.1
千葉県	1.1	沖縄県	0.5	無回答	0.2
福井県	1.1	群馬県	0.4		
岡山県	1.0	広島県	0.4		

※大都市圏\*からの転入者 33.2%(276件)

\*表中の網掛け ■ 東京圏：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、名古屋圏：愛知県、関西圏：大阪府、京都府、兵庫県

### ■出身地（問3） ～県内市外が約3割、Uターンは2割近く

出身地は、「滋賀県内市外」が29.3%(244件)と最も多く、次いで「東近江市」が15.4%(128件)で、4割以上が滋賀県内出身者となっています。また、「京都府」が7.3%(61件)、「大阪府」が6.9%(57件)と続きます。

東近江市へのUターンは、15.4%(128件)と2割近くです。そのうち、大都市圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、愛知県、大阪府、京都府、兵庫県の8都府県）から東近江市へ転入した本市出身者は31件（3.7%）です。また、Jターンに該当する、滋賀県内（本市以外）出身で大都市圏から東近江市へ転入された方は45件（5.4%）となっています。

問3 出身地\*はどちらですか？（Uターンに該当するかどうかを確認する質問です。）

（\*生まれてから15歳までの間、最も長く住んでいた場所をお答えください）

#### ■出身地（都道府県）（※転出者総数832件に占める割合）

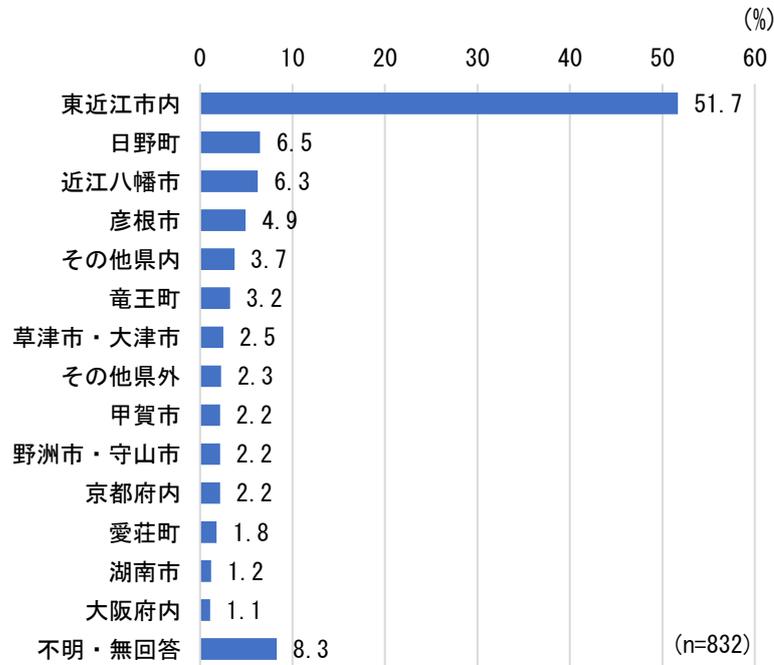
単位：%

滋賀県内市外	29.3	福井県	1.0	沖縄県	0.5
東近江市	15.4	北海道	0.8	青森県	0.4
京都府	7.3	石川県	0.8	秋田県	0.4
大阪府	6.9	宮崎県	0.8	山形県	0.4
兵庫県	4.1	和歌山県	0.8	徳島県	0.4
愛知県	3.6	長崎県	0.8	広島県	0.4
三重県	2.5	栃木県	0.7	福島県	0.4
福岡県	2.4	群馬県	0.7	香川県	0.4
東京都	1.9	千葉県	0.6	鳥取県	0.4
岐阜県	1.9	静岡県	0.6	新潟県	0.2
高知県	1.8	大分県	0.5	愛媛県	0.2
神奈川県	1.4	岡山県	0.5	佐賀県	0.2
奈良県	1.4	富山県	0.5	宮城県	0.2
国外	1.3	茨城県	0.5	岩手県	0.1
埼玉県	1.2	熊本県	0.5	長野県	0.1
鹿児島県	1.1	山口県	0.5	無回答	1.1

■世帯主の通勤・通学先（問8） ～ 半数以上が東近江市内

世帯主の通勤・通学先は、「東近江市内」が51.7%と最も多く、次いで「日野町」が6.5%、「近江八幡市」が6.3%、「彦根市」が4.9%と続きます。

問8 転入された方（世帯で転入された場合は世帯主の方）の通勤・通学先についてお答えください。  
《○1つ》

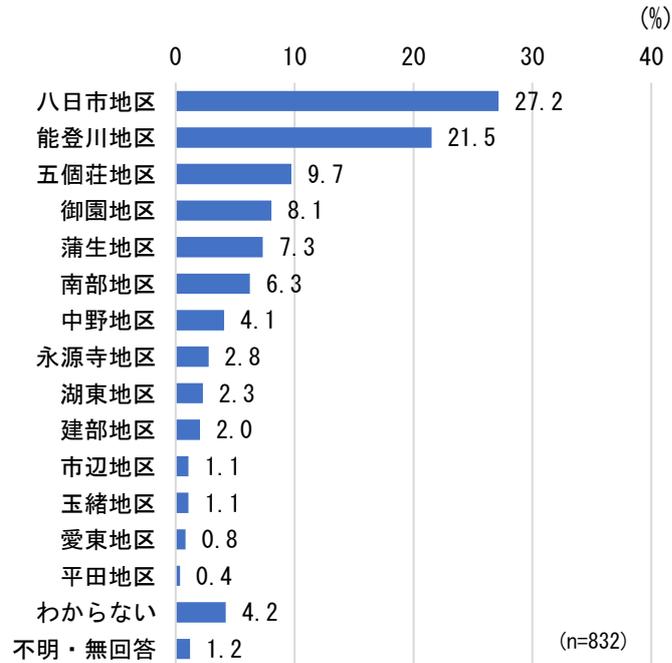


### ■転入後の住所（問9） ～ 八日市地区が3割近く、能登川地区が2割

転入後の住所は、「八日市地区」が27.2%と最も多く、次いで「能登川地区」が21.5%、「五個荘地区」が9.7%と続きます。

八日市地区及び能登川地区は、転出者も多い地区であり、人の出入りが多い地区と言えます。なお、転入者が3番目に多い「五個荘地区」は転出では4番目で、転出者が3番目に多い「蒲生地区」は転入では5番目となっています。

問9 これから、市内のどの地区でお住まいになりますか。《○1つ》



2 転入前・後の住居（問10） ～ いずれも賃貸が最多、転入後は4割→半数近くに増加

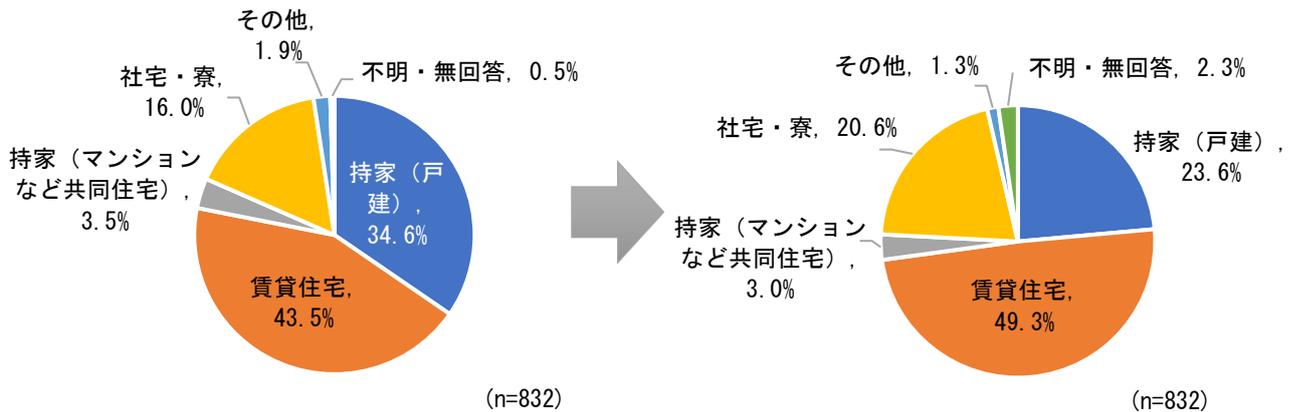
転入前・後の住居については、転入前は「賃貸住宅」が43.5%と最も多く、次いで「持家（戸建）」が34.6%と続きます。一方、転入後は、「賃貸住宅」、「持家（戸建）」の順序は同じですが、「賃貸住宅」は49.3%と半数近くまで増加し、「持家（戸建）」は23.6%と2割まで減少します。

転入前・転入後の住居の変化を見ると、転入前「持家（戸建）」、「賃貸住宅」ともに6割近くが転入後「賃貸住宅」となっています。「持家（戸建）」から「賃貸住宅」になった割合を世帯主の年齢別に比較すると、特に20～30歳代で高くなっています（20歳代で6割近く、30歳代で8割近く）。

問10 転入前・後の住宅についておたずねします。あてはまるものを一つずつ選んでください。《○1つ》

《転入前》

《転入後》



■転入前と転入後の住居（※無回答を除く。クロス集計結果）

単位：%

転入前の住居 \ 転入後の住居	持家(戸建)	賃貸住宅	持家(マンションなど共同住宅)	社宅・寮	その他	総計
持家(戸建) (n=282)	15.2	<b>56.0</b>	3.2	23.4	2.1	100.0
賃貸住宅 (n=354)	33.1	57.6	2.8	5.9	0.6	100.0
持家(マンションなど共同住宅) (n=29)	34.5	44.8	6.9	13.8	0.0	100.0
社宅・寮 (n=131)	17.6	19.8	3.1	58.0	1.5	100.0
その他 (n=16)	18.8	56.3	0.0	18.8	6.3	100.0
総計 (n=812)	24.1	50.5	3.1	20.9	1.4	100.0

■転入前の住居が持家(戸建)の転入後の住居×世帯主の年齢（※無回答を除く。クロス集計結果）

（※無回答を除く。クロス集計結果）

単位：%

世帯主の年齢 \ 転入後の住居	持家(戸建) (n=43)	賃貸住宅 (n=157)	持家(マンションなど共同住宅)(n=9)	社宅・寮 (n=66)	その他 (n=6)	総計 (n=281)
10歳代 (n=12)	8.3	16.7	0.0	66.7	8.3	100.0
20歳代 (n=172)	9.3	<b>58.7</b>	4.1	27.3	0.6	100.0
30歳代 (n=42)	9.5	<b>76.2</b>	4.8	9.5	0.0	100.0
40歳代 (n=20)	30.0	45.0	0.0	20.0	5.0	100.0
50歳代 (n=16)	31.3	43.8	0.0	18.8	6.3	100.0
60歳代 (n=8)	62.5	37.5	0.0	0.0	0.0	100.0
70歳代 (n=8)	62.5	25.0	0.0	0.0	12.5	100.0
80歳代以上 (n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	100.0
総計	15.3	55.9	3.2	23.5	2.1	100.0

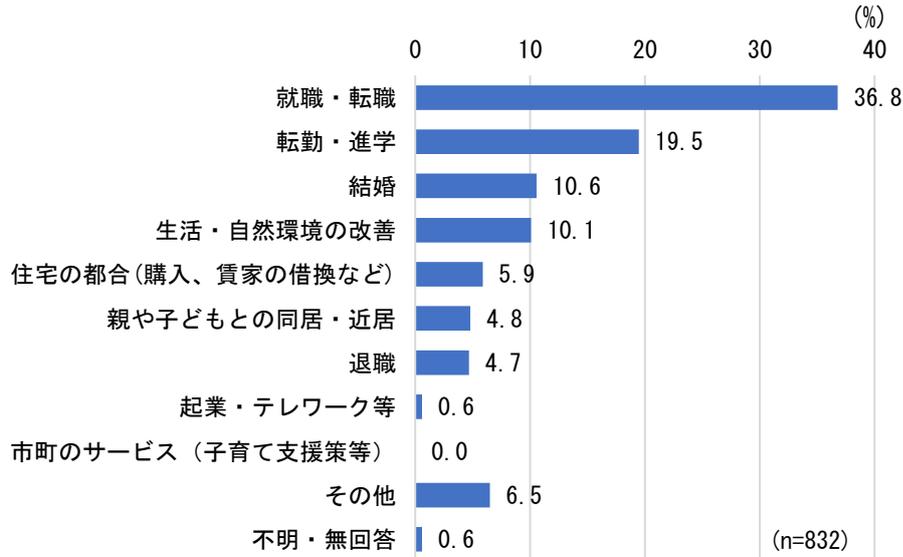
3 転入（住所変更）のきっかけ（問11）

～ 就職・転職、転勤・進学、結婚のほか生活・自然環境の改善が上位

転入の最も大きなきっかけは、「就職・転職」が36.8%と最も多く、次いで「転勤・進学」が19.5%、「結婚」が10.6%、「生活・自然環境の改善」が10.1%と続きます。

転出の理由と比べると、就職・転職、転勤・進学、結婚など人生のターニングポイントは共通していますが、転入の理由では「生活・自然環境の改善」が上位にあげられています。

問11 住まいを移動する(転入する)こととなった最も大きなきっかけについてお答えください。  
(理由が重複する場合は、主となる理由を選んでください。)(〇1つ)



■その他の理由（54件）

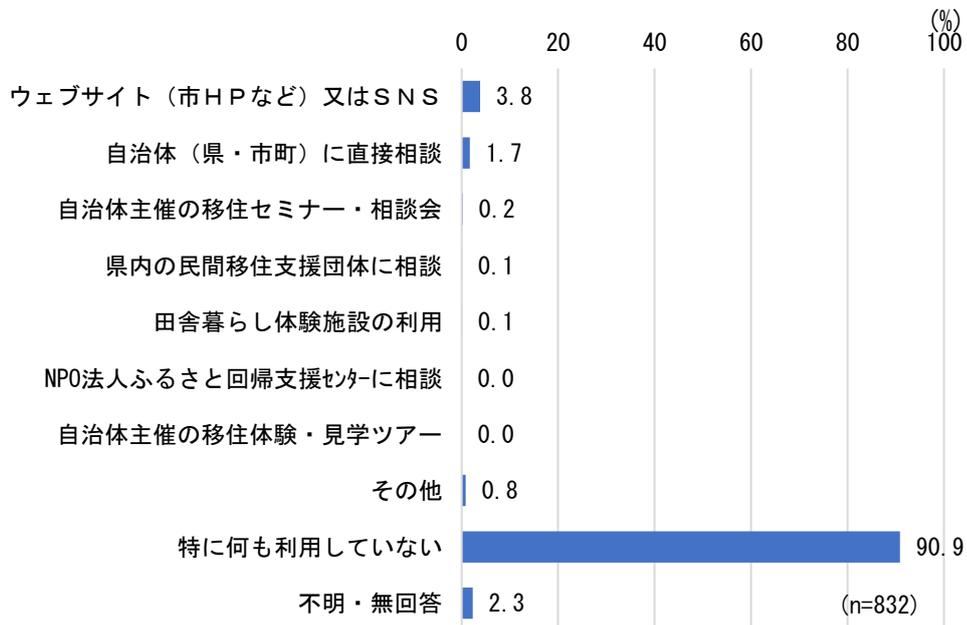
同棲（10件）		仕事関係（6件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤距離</li> <li>・通勤時間(車)</li> <li>・仕事先の変更</li> <li>・出向</li> <li>・会社が近くなるから</li> <li>・職場でのフィールドワーク実習のため</li> </ul>
離婚・別居（10件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離婚（8件）</li> <li>・別居（2件）</li> </ul>		
別離（2件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夫の死亡</li> <li>・妻が亡くなり、空き家状態になった。</li> </ul>		
独立（2件）			
出産（2件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産で転勤</li> <li>・出産</li> </ul>		
その他（10件）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実家に戻るため</li> <li>・元々住んでいた</li> <li>・留学</li> <li>・帰国</li> <li>・老後</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気分転換</li> <li>・療養</li> <li>・さそい</li> <li>・交通の便</li> <li>・保証人の問題</li> </ul>	
無回答（12件）			

#### 4 転入にあたり利用した移住・定住支援制度（問12） ～ 9割が利用していない

転入の際利用した移住・定住サービスは、「特に何も利用していない」が90.9%と、9割が利用していないと回答しています。一方、何らかの制度を回答した人は6.9%（57件）と1割未満で、その支援制度の内容は「ウェブサイト（市HPなど）又はSNS」が3.8%と最も多く、次いで「自治体（県・市町）に直接相談」が1.7%と続きます。NPO法人ふるさと回帰支援センターへの相談や自治体主催の移住体験・見学ツアーの利用者は、今回の調査期間中にはいませんでした。

移住・定住支援制度自体は年々充実している中でウェブサイトやSNSなどの利用は見られるものの、1割未満に留まっており、今後もこうした制度を必要とする方々への効果的なPRや利用のしやすさなど制度設計の見直しを行うとともに、引き続き丁寧な対応が必要です。

問12 転入にあたり、利用された移住・定住サービスはありますか？《あてはまるものすべてに○》



#### ■その他の支援制度（10件）

- |                                      |            |         |
|--------------------------------------|------------|---------|
| ・マイナポータル(2件)                         |            |         |
| ・自治体主催の移住セミナー・相談会、ウェブサイト(市HPなど)又はSNS |            |         |
| ・田舎暮らし体験施設の利用                        | ・派遣会社からの紹介 | ・無回答 5件 |

- 5 他に転入を検討した自治体（問13） ～ 9割近くは「ない」。検討した人は近江八幡市など  
本市以外に転入を検討した自治体については、何らかの自治体名を回答した人は74件（8.9%）、  
「ない」又は「特になし」が712件（85.6%）、無回答が46件（5.5%）となっています。

具体的な自治体名を回答された74件の内訳を見ると、滋賀県内他市町村では「近江八幡市」が35件（47.3%\*）と最も多く、次いで「野洲市」が9件（12.2%\*）、「彦根市」及び「甲賀市」が8件（10.8%\*）などと続きます。他都道府県では、「東京都」及び「静岡県」が3件（4.1%\*）となっています。

\*具体的な自治体名の回答があった74件に対する割合

問13 本市以外に転入を検討した自治体があれば、教えてください。《なければ「特になし」に○》

■滋賀県内他市町村		単位：件		■他都道府県		単位：件	
近江八幡市	35	長浜市	2	東京都	3		
野洲市	9	愛荘町	2	静岡県	3		
彦根市	8	日野町	2	愛知県	2		
甲賀市	8	大津市	2	京都府	2		
守山市	6	栗東市	2	宮城県	1		
湖南市	4	蒲生郡	1	岐阜県	1		
草津市	3	東近江市	1	青森県	1		
竜王町	2	滋賀県(市町村不明)	2	大阪府	1		
				北海道	1		

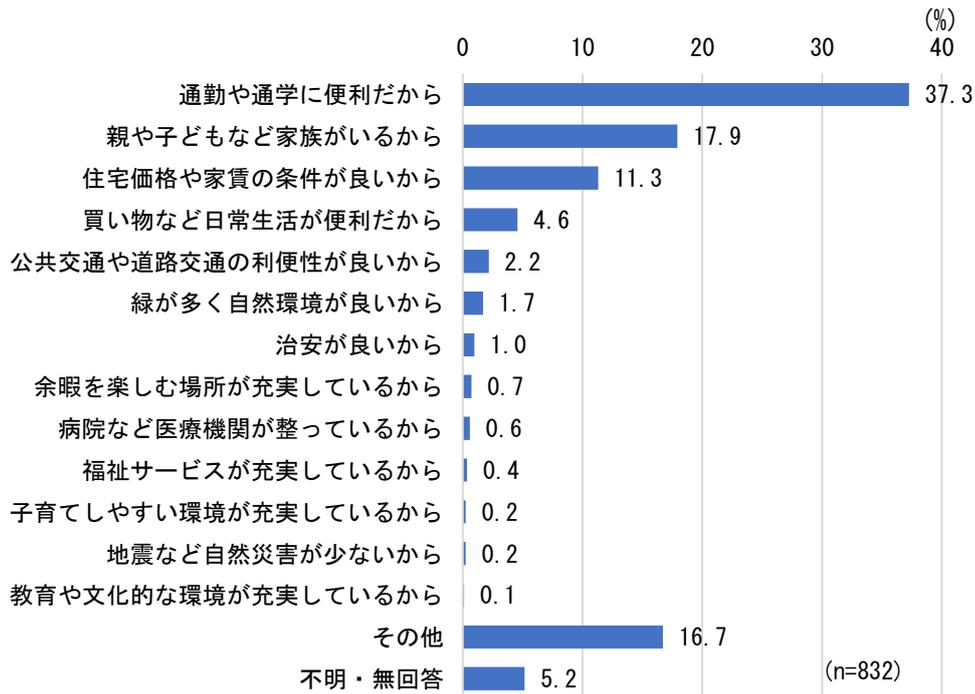
※具体的な自治体名の回答のあった74件分(複数回答あり)

## 6 転入先に東近江市を選んだ理由（問14） ～ 通勤等に便利、家族がいる、住宅条件の良さ

転入先を本市に決めた理由は、「通勤や通学に便利だから」が37.3%と最も多く、次いで「親や子どもなど家族がいるから」が17.9%、「住宅価格や家賃の条件が良いから」が11.3%と続きます。

転出先を決めた理由と比べると、「通勤や通学に便利」、「親や子どもなど家族がいる」、「住宅価格や家賃の条件が良い」の上位3つは共通していますが、転入先に本市を選んだ理由では、「緑が多く自然環境が良い」や「治安が良い」が比較的上位に挙げられ、本市ならではの理由（強み）と考えられます。一方で、「余暇を楽しむ場所が充実している」や「病院など医療機関が整っている」は比較的下位となっており、認知度等の面も含め本市のやや弱い部分とも考えられます。

問14 転入先を本市に決めたのは、どういった理由からですか。《○1つ》



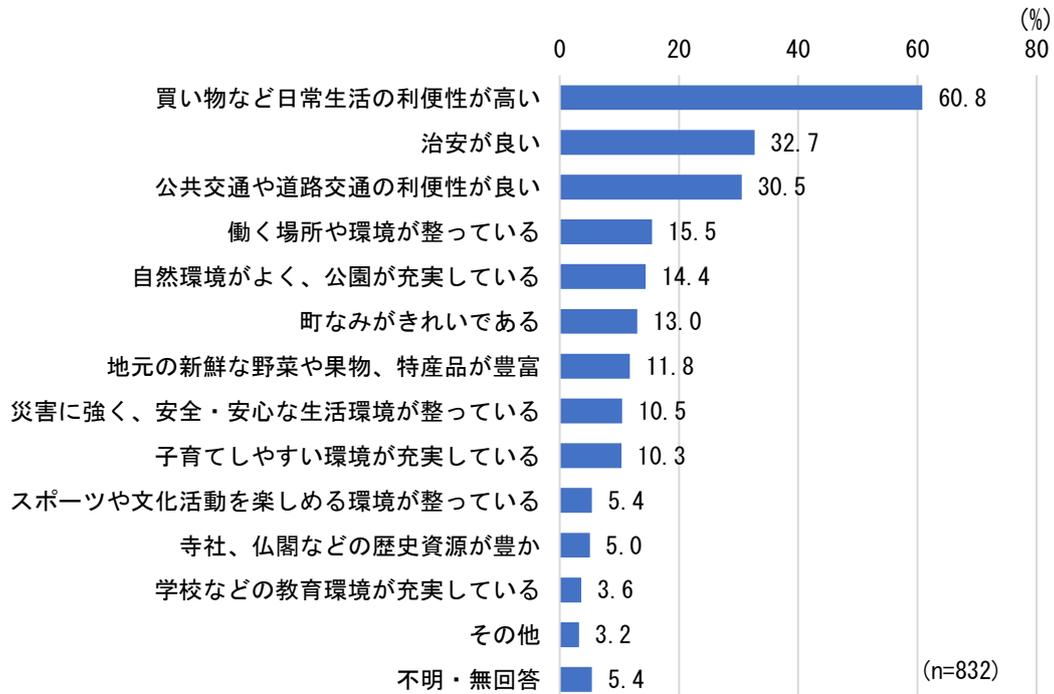
## ■その他の理由（139件）

仕事・会社関係 (89件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社の指定/指示/命令/選定(33件)</li> <li>・会社の寮がある(17件)</li> <li>・仕事都合(8件)</li> <li>・社宅がある(10件)</li> <li>・転勤(8件)</li> <li>・就職(7件)</li> <li>・会社に近い(6件)</li> </ul>	実家・家族/ 住み慣れた 土地 (17件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実家がある/実家に近い(12件)</li> <li>・住み慣れているから</li> <li>・以前住んだ土地柄だったから</li> <li>・以前の居住地</li> <li>・前に住んでいたから</li> <li>・勤務先未定のため、一旦実家へ転入</li> </ul>
気に入った住宅 (4件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(居住する賃貸住宅が)ペット可であったから</li> <li>・気に入った賃貸があったから</li> <li>・良い物件があった為</li> <li>・住宅の条件</li> </ul>	結婚(3件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚</li> <li>・結婚のため</li> <li>・結婚相手の住居</li> </ul>
その他(8件)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一度訪れたことがあるから</li> <li>・知人がいるため</li> <li>・友人の紹介</li> <li>・新しい土地で生活してみたかった</li> <li>・地理間のない広い場所で生活してみたかったから</li> <li>・工場が多くて転職先に困らなかったから</li> <li>・賃貸がなかった</li> <li>・職場でのフィールドワーク実習のため</li> </ul>	同棲(2件)	
		なし・特になし(3件)	
		無回答(13件)	

## 7 本市での暮らしで期待すること（問15） ～ 6割が日常生活の利便性の高さを望む

本市で暮らすにあたり、期待することは、「買い物など日常生活の利便性が高い」が60.8%と最も多く、次いで「治安が良い」が32.7%、「公共交通や道路交通の利便性が高い」が30.5%と続きます。

問15 本市で暮らすにあたり、期待することは何ですか。《○3つまで》



### ■その他の期待すること（27件）

- |                              |                        |
|------------------------------|------------------------|
| ・ごみの分別が楽なこと/ごみ捨ての柔軟さ（2件）     | ・今後の利便性（日常生活に不便がないように） |
| ・道路幅が狭く渋滞が多く感じるためその改善（特に421） | ・持家の外壁塗装に関する補助金        |
| ・子ども医療費などの生活費用負担軽減策          | ・福祉の充実                 |
| ・フードデリバリーの普及                 | ・なし/特になし（2件）           |
| ・無回答（17件）                    |                        |

### 3 総括

#### 1. 転出者

##### (回答者属性)

- ・転出者（世帯主）の年齢は20～30歳代が7割以上で、全体の半数以上が20歳代です。
- ・人数は1人（単身）での転出が8割以上となっています。
- ・転出前の住所は、八日市地区が3割近く、能登川地区が2割、蒲生地区が1割となっています。
- ・転出先は、滋賀県内の転出が4割で、大阪府、京都府、愛知県、東京都といった大都市圏への転出が3割を超えています。滋賀県内転出先の内訳としては、「近江八幡市」、「彦根市」が2割近くとなっています。

##### (住居の種別・転出理由)

- ・転出前後の住居は、転出前は半数近くが持家（戸建）ですが、転出後は6割近くが賃貸住宅となっています。持家（戸建）から賃貸住宅になる割合は、世帯主の年齢が20～40歳代で特に高くなっています。
- ・住所移動（転出）のきっかけとしては、「就職・転職」が3割、「転勤・進学」、「結婚」が2割近くで、若者世代のターニングポイントが多く挙げられています。
- ・市内での転居検討については、8割以上が市外へ出る選択しかなかったと回答しています。
- ・これらのことから、転出者は就職や転職、転勤・進学などの都合で近隣または大都市圏へ移動する若い世代が多く、東近江市に住み続けてもらうためには、多様な職業が選択肢できるよう「働く場の充実」が必要であると考えられます。

##### (転出者を減少させるための取組)

- ・転出先を選んだ理由としては、4割が「通勤や通学に便利」を挙げており、「親や子どもなど家族がいる」、「住宅価格や家賃の条件が良い」も1割以上の人が挙げています。
- ・機会があればまた東近江市に住みたいかという問いに対しては、8割以上がもう一度住みたいと回答しています。
- ・東近江市のよかったところとしては、「日常生活の利便性」、「治安の良さ」、「自然環境や公園」が多く挙げられています。一方、不満なところとしては、「交通の不便さ」、「日常生活の利便性」、「働く場・環境」が多く挙げられています。「日常生活の利便性」は評価が分かれていました。
- ・これらのことから、若い世代の人に本市に住み続けてもらうためには「治安の良さ」、「豊かな自然」をアピールするとともに、「交通利便性の向上」、「買物などの日常生活の利便性向上」、「働く場や環境の充実・改善」も必要であると考えられます。

## 2. 転入者

### (回答者属性)

- ・転入者（世帯主）の年齢は、転出者と同様に20～30歳代が7割以上で、20歳代が半数以上です。転入世帯の人数は、1人（単身）での転入が8割となっています。
- ・転出者も転入者も20歳代を中心とした、比較的若い世代の単身での移動が多くなっています。
- ・転入前の住まいとしては、滋賀県内が4割以上、そのほか京都府、大阪府、兵庫県、東京都など大都市圏からの転入が3割以上となっています。
- ・世帯主の出身地は滋賀県内他市町村が約3割で、本市へのUターンは2割近くとなっています。また、世帯主の通勤・通学先は半数以上が市内となっています。
- ・転入後の住所は、八日市地区が3割近く、能登川地区が2割、五個荘地区が1割近くで、特に八日市地区及び能登川地区は、人の移動が多い地区となっています。

### (住居の種別・転入理由)

- ・転入前後の住居としては、いずれも賃貸住宅が多く、その割合は転入後やや増加します。
- ・住所移動（転入）のきっかけとしては、「就職・転職」、「転勤・進学」、「結婚」のほか、「生活・自然環境の改善」が上位に挙げられています。
- ・これらのことから、転入者は就職・転職、転勤・進学などで近隣または大都市圏から転入する若い世代が多く、本市に住み続けてもらうためには、「働く場の充実」とともに、「住み心地良い生活環境」、「豊かな自然環境」の保全・創出など、魅力アップを図っていくことが必要であると考えられます。

### (転入者を増加させるための取組)

- ・移住・定住支援制度の利用については、9割が利用していません。利用した人は1割未満で、「ウェブサイトやSNS」や「自治体（県・市町）に直接相談」が挙げられています。
- ・転入先として本市を選んだ理由としては、「通勤や通学に便利」、「親や子どもなど家族がいる」、「住宅価格や家賃の条件が良い」が多く挙げられています。一方、「医療」、「福祉」、「治安」、「災害」、「子育て」、「教育・文化」などを挙げた人はいずれも1%未満でした。
- ・本市での暮らしで期待することとしては、「日常生活の利便性」や「治安の良さ」、「交通利便性」など、暮らしやすさに関する項目が多く挙げられています。
- ・これらのことから、若い世代の本市への転入者を増加させ、住み続けてもらうためには、「通勤・通学の利便性」、「住宅確保条件」の良さをアピールするとともに、「日常生活の利便性」、「治安の良さ」、「交通の利便性」のほか、「働く場の充実」や「自然環境の良さと公園の充実」が必要と考えられます。また、移住・定住支援制度を必要とする方々への効果的なPRや利用のしやすさなど制度設計の見直しを行うとともに、引き続き丁寧な対応が必要であると考えられます。

**参考：調査票**

【転出者】

## 東近江市を転出される皆さまへ 定住・移住に関するアンケート御協力をお願い

平素は、市政各般にわたり御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東近江市では、第3次総合計画及び第3期総合戦略の策定や今後のまちづくりの参考とさせていただくため、東近江市から市外へ転出される皆さまに、定住・移住に関する御意見をお聞かせいただくアンケートの実施をしています。

皆さま方におかれましては、大変お忙しい中とは存じますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、収集した情報は、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱います。

令和6年9月

東近江市長 小椋正清

**アンケートの返信について**

ご記入いただいた調査票は、市民課又は各支所の転出届出窓口にお渡しく下さい。

※同内容の電子アンケートも御用意しております。スマートフォン等で  
右記のQRコードを読み取り、御回答ください。

※電子アンケートに御回答いただいた場合、この紙のアンケートに  
回答いただく必要はございません。



電子アンケート QRコード

**アンケートに関する問い合わせ**

東近江市役所 企画部 政策推進課

〒527-8527 東近江市八日市緑町 10 番5号

IP電話：050-5802-9950 電話：0748-24-5628

ファックス：0748-24-1457 Eメール：seisui@city.higashiomi.lg.jp





問8 東近江市を転出することとなった最も大きなきっかけについてお答えください。

(理由が重複する場合は、主となる理由を選んでください。)《○1つ》

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1: 生活・自然環境の改善        | 2: 他市町のサービス(子育て支援策等)による |
| 3: 住宅の都合(購入、賃家の借換など) | 4: 親や子どもとの同居・近居         |
| 5: 結婚                | 6: 退職                   |
| 7: 起業・テレワーク等         | 8: 就職・転職                |
| 9: 転勤・進学             | 10: その他( )              |

問9 住まいを変えるにあたり、東近江市内での転居は検討されましたか。《○1つ》

- |         |                           |
|---------|---------------------------|
| 1: 検討した | 2: 検討しなかった(市外へ出る選択しかなかった) |
|---------|---------------------------|

問10 新たな住まいの場所を転出先市に決めた理由はどのようなことでしたか。《○1つ》

- |                       |
|-----------------------|
| 1: 住宅価格や家賃の条件が良いから    |
| 2: 親や子どもなど家族がいるから     |
| 3: 買い物など日常生活が便利だから    |
| 4: 通勤や通学に便利だから        |
| 5: 公共交通や道路交通の利便性が良いから |
| 6: 余暇を楽しむ場所が充実しているから  |
| 7: 子育てしやすい環境が充実しているから |
| 8: 教育や文化的な環境が充実しているから |
| 9: 福祉サービスが充実しているから    |
| 10: 病院など医療機関が整っているから  |
| 11: 緑が多く自然環境が良いから     |
| 12: 治安が良いから           |
| 13: 地震など自然災害が少ないから    |
| 14: その他( )            |

問11 機会があれば、もう一度東近江市に住みたいと思われませんか。《○1つ》

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1: 住みたいと思う        | 2: どちらかと言えば住みたいと思う |
| 3: どちらかと言えば住みたくない | 4: 住みたくない          |

## 問12 東近江市での生活の上で良かったことは、どういったところでしたか。《○3つまで》

- 1: 買い物など日常生活の利便性が高い
- 2: 寺社、仏閣などの歴史資源が豊か
- 3: 公共交通や道路交通の利便性が良い
- 4: 地元の新鮮な野菜や果物、特産品が豊富
- 5: 自然環境がよく、公園が充実している
- 6: 子育てしやすい環境が充実している
- 7: 治安が良い
- 8: 災害に強く、安全・安心な生活環境が整っている
- 9: 町なみがきれいである
- 10: スポーツや文化活動を楽しめる環境が整っている
- 11: 学校などの教育環境が充実している
- 12: 働く場所や環境が整っている
- 13: その他( )

## 問13 東近江市での生活の上で不満に感じていたことは、どういったところでしたか。《○3つまで》

- 1: 買い物など日常生活の利便性が低い
- 2: 寺社、仏閣などの歴史資源に乏しい
- 3: 公共交通や道路交通が不便である
- 4: 地元の新鮮な野菜や果物、特産品に乏しい
- 5: 自然環境や公園が不足している
- 6: 子育てに必要な環境が足りない
- 7: 治安が良くない
- 8: 災害に対して安全・安心な生活環境が整っていない
- 9: 町なみがきれいではない
- 10: スポーツや文化活動を楽しめる環境が整っていない
- 11: 学校などの教育環境が不十分だ
- 12: 働く場所や環境が整っていない
- 13: その他( )

調査に御協力いただき、ありがとうございました。

## 【転入者】

## 東近江市に転入された皆さまへ 定住・移住に関するアンケート御協力をお願い

ようこそ東近江市へお越しいただきました。心から歓迎申し上げます。

平素は、東近江市政各般にわたり御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東近江市では、第3次総合計画及び第3期総合戦略の策定や今後のまちづくりの参考とさせていただくため、市外から東近江市に転入された皆さまから、定住・移住に関する御意見をお聞かせいただくアンケートの実施をしています。

皆さま方におかれましては、大変お忙しい中とは存じますが、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

なお、収集した情報は、個人情報の保護に関する法律に基づき適切に取り扱います。

令和6年9月

東近江市長 小椋正清

**※回答は、一世帯につき1名のみです。**

### アンケートの返信について

ご記入いただいた調査票は、市民課又は各支所の転入届出窓口にお渡しく下さい。

※同内容の電子アンケートも御用意しております。スマートフォン等で右記のQRコードを読み取り、御回答ください。

※電子アンケートに御回答いただいた場合、この紙のアンケートに回答いただく必要はございません。



電子アンケート QR コード

### アンケートに関するお問合せ

東近江市役所 企画部 政策推進課

〒527-8527 東近江市八日市緑町 10 番5号

IP電話:050-5802-9950 電話:0748-24-5628

ファックス:0748-24-1457 Eメール:seisui@city.higashiomori.lg.jp



### 抽選で毎月1名様に「近江牛肉選べるギフト」プレゼント！

このアンケートは、滋賀移住・交流促進協議会事務局が移住促進の取組にいかす目的で実施している質問も含まれています。御回答いただいた方の中から**抽選で毎月1名様に「近江牛肉選べるギフト」**が同事務局からプレゼントされますので、御希望の場合は、以下に住所、氏名を記入してください。

住所



氏名(代表者)

※記入いただいた住所と氏名は、下記の事務局へ情報提供を行うこととなりますのでご了承ください。  
※当選者の発表は、下記事務局からのプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

### ギフトに関するお問合せ先

滋賀移住・交流促進協議会事務局(滋賀県総務部市町振興課内) 電話:077-528-3243

## 【調査票】

問1 転入された年月をご記入ください。

令和\_\_\_\_\_年\_\_\_\_\_月

問2 転入直前は、どちらに住んでおられましたか。(記入例:〇〇県△△市)

ご記入ください( )

問3 出身地<sup>\*</sup>はどちらですか?(Uターンに該当するかどうかを確認する質問です。例:〇〇県△△市)  
(\*生まれてから15歳までの間、最も長く住んでいた場所をお答えください)

ご記入ください( )

問4 転入された方(世帯で転入された場合は世帯主の方)の性別をお答えください。《〇1つ》

1: 男 2: 女

問5 転入された方(世帯で転入された場合は世帯主の方)の年齢についてお答えください。《〇1つ》

1: 10歳代 2: 20歳代 3: 30歳代 4: 40歳代  
5: 50歳代 6: 60歳代 7: 70歳代 8: 80歳代以上

問6 転入された方の構成と人数についてお答えください。《〇1つと数字にて記入》

1: 単身での転入 2: 夫婦のみの転入 3: 親子(二世帯)の転入 4: 親・子・孫(三世帯)の  
(2名) ( \_\_\_\_\_名) 転入 ( \_\_\_\_\_名)

問7 転入された方(世帯で転入された場合は世帯主の方)の御職業についてお答えください。《〇1つ》

1: 会社員・公務員 2: パートタイマー・アルバイト  
3: 専業主婦・主夫 4: 自営業(農林漁業従事者含む)  
5: 無職 6: 学生  
7: その他( )

問8 転入された方(世帯で転入された場合は世帯主の方)の通勤・通学先についてお答えください。

《〇1つ》

1: 東近江市内 2: 近江八幡市 3: 湖南市  
4: 彦根市 5: 日野町 6: 竜王町  
7: 甲賀市 8: 愛荘町 9: 野洲市・守山市  
10: 草津市・大津市 11: その他県内( ) 12: 京都府内  
13: 大阪府内 14: その他県外( )

問9 これから、市内のどの地区でお住まいになりますか。《○1つ》

1: 平田地区	2: 市辺地区	3: 玉緒地区
4: 御園地区	5: 建部地区	6: 中野地区
7: 八日市地区	8: 南部地区	9: 永源寺地区
10: 五個荘地区	11: 愛東地区	12: 湖東地区
13: 能登川地区	14: 蒲生地区	15: わからない(町丁目: )

問10 転入前・後の住宅についておたずねします。あてはまるものを一つずつ選んでください。

《○1つ》

【転入前】	1: 持家(戸建)	2: 賃貸住宅
3: 持家(マンションなど共同住宅)	4: 社宅・寮	5: その他( )
【転入後】	1: 持家(戸建)	2: 賃貸住宅
3: 持家(マンションなど共同住宅)	4: 社宅・寮	5: その他( )

問11 住まいを移動する(転入する)こととなった最も大きなきっかけについてお答えください。

(理由が重複する場合は、主となる理由を選んでください。)《○1つ》

1: 生活・自然環境の改善	2: 市町のサービス(子育て支援策等)
3: 住宅の都合(購入、賃家の借換など)	4: 親や子どもとの同居・近居
5: 結婚	6: 退職
7: 起業・テレワーク等	8: 就職・転職
9: 転勤・進学	10: その他( )

問12 転入にあたり、利用された移住・定住サービスはありますか？《あてはまるものすべてに○》

1: 自治体(県・市町)に直接相談	2: 県内の民間移住支援団体に相談
3: NPO 法人ふるさと回帰支援センターに相談 ア. 東京(しがIJU相談センター) イ. 大阪	4: 自治体主催の移住セミナー・相談会
5: 自治体主催の移住体験・見学ツアー	6: 田舎暮らし体験施設の利用
7: ウェブサイト(市HPなど)又はSNS	8: その他( )
9: 特に何も利用していない	

裏面に続きます(残り3問)。

問 13 本市以外に転入を検討した自治体があれば、教えてください。《なければ「特になし」に○》

ご記入ください( /特になし )

問 14 転入先を本市に決めたのは、どういった理由からですか。《○1つ》

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1: 住宅価格や家賃の条件が良いから    | 2: 親や子どもなど家族がいるから     |
| 3: 買い物など日常生活が便利だから    | 4: 通勤や通学に便利だから        |
| 5: 公共交通や道路交通の利便性が高いから | 6: 余暇を楽しむ場所が充実しているから  |
| 7: 子育てしやすい環境が充実しているから | 8: 教育や文化的な環境が充実しているから |
| 9: 福祉サービスが充実しているから    | 10: 病院など医療機関が整っているから  |
| 11: 緑が多く自然環境が良いから     | 12: 治安が良いから           |
| 13: 地震など自然災害が少ないから    | 14: その他( )            |

問 15 本市で暮らすにあたり、期待することは何ですか。 《○3つまで》

- 1: 買い物など日常生活の利便性が高い
- 2: 寺社、仏閣などの歴史資源が豊か
- 3: 公共交通や道路交通の利便性が高い
- 4: 地元の新鮮な野菜や果物、特産品が豊富
- 5: 自然環境がよく、公園が充実している
- 6: 子育てしやすい環境が充実している
- 7: 治安が良い
- 8: 災害に強く、安全・安心な生活環境が整っている
- 9: 町なみがきれいである
- 10: スポーツや文化活動を楽しめる環境が整っている
- 11: 学校などの教育環境が充実している
- 12: 働く場所や環境が整っている
- 13: その他( )

調査に御協力いただき、ありがとうございました。